



総会報告(1)	P1	写真家から見たもうひとつの建築風景	P5	テニス同好会便り	P9
総会報告(2)	P2	家具×デザイン 森をはぐくむ	P6	ワイン同好会便り	P10
総会報告(3)	P3	アスベスト対策講座	P7	横浜市建築局からのお知らせ	P11
総会関連(講演会) 住宅設計のプロセスとプレゼンテーション	P4	絵画同好会便り	P8	新委員長挨拶・編集後記	P12

「第25回横浜支部通常総会」及び「記念講演会」開催



支部長 渡邊 一郎

本日は(一社)神奈川県建築士会横浜支部総会にあたり、会員の皆さまにおかれましては休日にも関わらずご出席いただきありがとうございます。

建築士会の目的は、建築士の品位の保持及びその業務の進捗改善に資するため、建築士に対する建築技術に関する研修、並びに社員の指導及び連絡に関する業務を行うことです。様々な世の流れの中で変化する法律、条令などを、研修を通じ伝えるのは大きな仕事です。そのような中、最近では建築士のなりすまし等の問題が発生しておりますが、建築士会自体で会員の教育、研修を義務付け、建築士会に入っていればス

キルの向上が見込める、発注者である行政がスキルの高い建築士会会員に設計事務所インセンティブを与えるなどのシステムを構築すれば、本会で抱える会員減少にも歯止めが掛かり、会員増強につながると思います。

また近年は、働き方改革など建築を取り巻く環境は難しい時代になっております。施工の業界では週休二日を目標としていますが、これには賃金、工程、経費など様々な問題が関わってきます。現場では少しでも残業が減る工法に舵を切るため、今後は設計そのものにも影響するかもしれません。設計、行政、施工、教員など異業種が集まる本会の意義をご理解の上、今後の活動にも理解を求める所存です。

最後に本日の総会、また総会終了後、神奈川大学の石田先生の講演、懇親会と盛りだくさんの内容です。総会の議事進行では慎重なるご審議を頂き円滑に進むよう皆さまにご協力をお願いし挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 神奈川県建築士会横浜支部 「平成30年度 第25回通常総会」議事録

日時：平成30年5月28日（土）14時00分～18時45分（総会・講演会・懇親会）
場所：ワークピア横浜
出席者：55名 委任状：169名

司会：小笠原 泉



第1部 総会

1. 支部長挨拶 渡邊 一郎
2. 議長選出 議長 渡邊 一郎
3. 議事
 - 1) 平成29年度活動報告

総務委員会（統括）	報告者 小笠原 泉
厚生委員会	報告者 高橋 伸廣
技術・情報委員会	報告者 櫻田 修三
広報委員会	報告者 落合 博
 - 2) 平成29年度収支決算案・監査報告

会計	報告者 山成 芳直
監査報告	報告者 金子 修司

 質疑応答：質問者なし。拍手にて承認。
 - 3) 平成30年度活動計画案

技術・情報委員会	提案者 櫻田 修三
厚生委員会	提案者 高橋 伸廣
広報委員会	提案者 落合 博
総務委員会	提案者 小笠原 泉
 - 4) 平成30年度収支予算案

会計	提案者 山成 芳直
----	-----------

 質疑応答：質問者なし。拍手にて承認。
 - 5) 役員の一部変更

広報委員長の「落合 博」が副委員長、「白井崇雄」が委員長へ新任。
質問者なし。拍手にて承認。

すべての議事終了、議長解任。

4. 来賓紹介

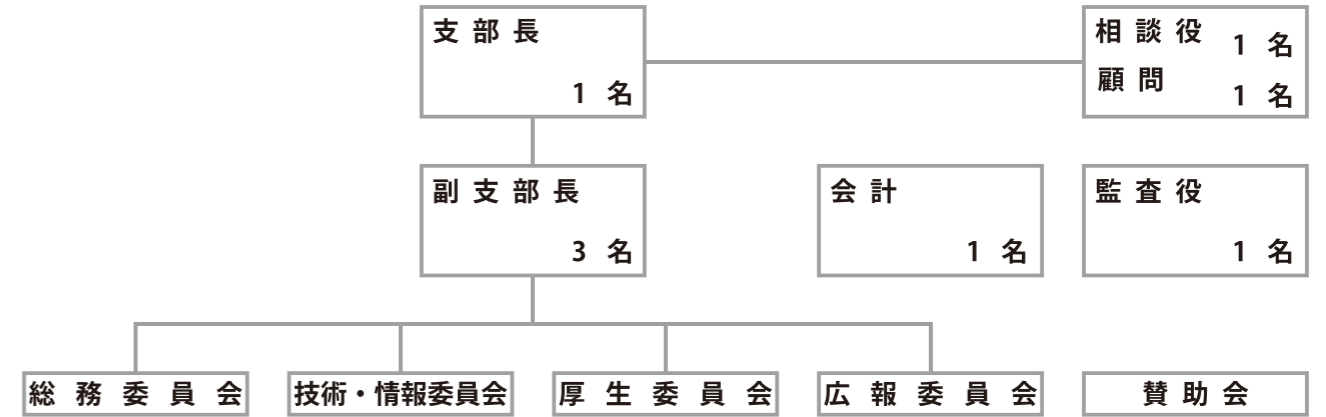
- ・坂和 伸賢 横浜市技監兼建築局長
- ・金子 修司 (一社) 神奈川県建築士会 会長
- ・佐藤 健二 (一社) 横浜市建築士事務所協会 理事長

来賓挨拶 坂和 伸賢



終了

神奈川県建築士会横浜支部組織図



第2部 記念講演

テーマ「住宅設計のプロセスとプレゼンテーション」

講師：石田 敏明（神奈川大学教授）

この後、17時00分より「懇親会」

第3部 懇親会

司会：高橋 伸廣

参加者：54名（会員48・賛助会員2・来賓1招待新人3）

乾杯発声：星 雅巳

中締め挨拶：落合 博

「総会」とかけて、
「餅菓子屋」と解きます。
その心は
「餡（案）をベースに
この一年もがんばります」

懇親会の様子



終了 18時45分



『住宅設計のプロセスとプレゼンテーション』講演会 講師：石田敏明先生（神奈川大学教授）



総会記念講演会は神奈川大学の石田敏明教授を講師としてお迎えして「住宅設計のプロセスとプレゼンテーション」の講演でした。石田教授の代表作品を時系列でご紹介頂いたのですが、それは大学教授というよりも一建築家の建築に対する戦歴であり、時代の流れによる建築の変化を如実に表したものでした。

1984年の「浦崎の家」から一貫しているのは「軽く感じる建築」であり、それ故か木造が多い感じを受けます。しかし、大学時代は構造系だったという石田教授は木造だけでは足りない耐力を躊躇無く鉄骨を組み込むことであっさりと解決してみせます。

木造にさらっと丸鋼のブレースを入れる、風で決まる建物の2×4の柱にはフラットバーを内蔵する、更には鋼板による壁式構造だけで住宅の構造を成り立たせてしまう。まるで構造に対する固定観念がないかのよう。

また、建築にとって古き良き時代とも言え

るバブル期には、手間と時間をかけて実験的に自然エネルギーを使った計画を行っていますが、これは実現していません。しかし、これが後の「NOSハウス」に生きてきます。北海道にもかかわらず大きなガラス面を持つこの住宅にはパッシブソーラーが取り入れられています。手に入れた知識を進化させて次の建築に取り入れ、更に何かをサジェスチョンするように設計を進める石田教授には限界が無いかのように感じます。

この講演会では様々な特徴的な住宅が紹介されましたが、実はこれらの住宅設計を実現させているのは個性的な理解ある施主の存在が大きいように感じます。

日本での標準的な家庭は 夫婦+子供二人とされているようですが、どうもそのような施主はあまり登場しないような....自分のライフスタイルが確立されている施主、挑戦する施主が石田教授の元に集まってきて、これらの住宅を成り立たせている気がします。

1950年生まれの石田教授、まだまだ新しいサジェスチョンを我々に示して下さいそうです。



鈴木 武明



『建築家から見たもうひとつの建築風景』講演会 講師：安川千秋先生

横浜支部 技術・情報委員会の活動として、2月16日(金)に『写真家から見たもうひとつの建築風景』と題して講演会を開催致しました。会員以外の方の出席も多く、30名近くのご参加をいただきました。

講師は日経アーキテクチャの建築写真を長きに渡り撮影を続けてこられた安川千秋先生に務めていただきました。



米軍基地や山下埠頭・日本各地の倉庫など、普段目にすることがないアンダーグラウンドな世界を独自の目線で切り取り写真に残され、倉庫やコンテナ群の独特なスケール感と風景とのコントラストの魅力や撮影時の裏話など、興味深い貴重なお話を拝聴することができました。

また、著名な建築の取材時の思い出や

風呂迫 泰寛

撮影に対する強い想いをお話しいただきました。



一枚の風景をファインダーに収めるために、自らの足でどこまでも進んでいき、最高の瞬間を捉えるため時間を惜しまないこと、時とともに移り変わっていく建物の姿や街の風景を記録として写真に収め残していく先生の姿勢と想いに深く感銘を受けました。

今回の建築写真の講演を通して、これまでと視線を変えて建築や私たちの街の魅力に気付くことができ、大変よい機会をいただきました。

これから魅力ある建築や街並みをつくるため、この機会を生かして励んでいきたいと思えます。





『家具×デザイン 森をはぐくむ』講演会

講師：小田原建先生(家具デザイナー)

2011年4回にわたる技術・情報委員会の
続講座「イスを創る」を受けての講演である。

先生の生い立ちから始まり、吉村順三事務
所時代の話から今に至るまでの話、大分
全国大会で伝統的技術者表彰のお礼があっ
た。



「イスはやればやるほど面白い」木は生き
物であり、適材適所で用いるものであるから、
同じものは無く、いつも創意工夫に満た
されて造られた結果、その家具は永遠に生
きる。「本場スエーデン家具は70年間使用し
ても壊れない」理由。

自分の思いに木が言うことを聞かない時は、
木に対して自分自身の向き合い方が悪いの
だと反省し、真剣に向き合った時に木は必
ず助けてくれる。これが先生の木との向き合
い方。

杉の香りに心を静め、ヒノキの香りに興奮
し、なんとも言えない木の香りに心を研ぎ澄
ませ、材木が良いと全てが良くなると思え
る。日本人であることを実感する。だから、
「日本の家は日本の木で作らなければ真の
良さは出てこない!」と国産材の利用を力説
される。しかし、近年は材木を見に行く場所
は山では無く、輸入材を求めて海! その事
に危機感を覚え林業の活性化を強く望み、
国産材の利用する事をも力説された。私達

は、コンクリートの建物から再び木に向き合
い始めている。森を育み、国産材を最大限に
活用した、快適な暮らしを提案するビジネス
マーケットを展開できるように努力をしなければ
ならない。

良い仕事を成す為には、デザインと技術
が結託し、たゆまぬ努力が必要だ。その為には
目標やテーマの設定が欠かせない。例えば、
キッチンカウンタートップにも木をふん
だんに使う場合など、テーマを施主にしっか
りと説明しなければならない。

アドバイスを受け製作した参加者からも
素晴らしい感想の披露があった。

最後に沢山のプレゼン資料の説明と回覧
があった。CAD化になれた私たちに、手書き
のスケッチはどれも新鮮で心弾む思いがし
た。

84歳になられた先生のまだまだ精力的な
仕事のあり方に感銘するばかりです。

先生のこれからのご活躍と健康をお祈り
します。



高橋 秀行



『アスベスト対策講座』

～アスベストによる健康被害を発生させないために～

樺澤 正夫

開催の契機と経緯について

2017年6月に、横浜市環境創造局が発行したリーフレット
「アスベストの事前調査が必要ですが、横浜支部会員だけ
に配布されたが、同時に多数の他団体にも配布された。
配布の趣旨は、大気汚染防止法に基づく解体工事における
石綿の事前調査義務については、工事の発注者や施工者
への周知が全国的な課題となっている。しかし、発注者や施
工者等の認識不足により事前調査が履行されずに工事が
行われ、新聞種になった事例もある。横浜市では石綿の事
前調査について広く周知したいので、当建築士会の会員の
業務を通じて、発注者や施工者への啓蒙と周知を望んでい
た。



配布されたリーフレットを通読すると、横浜支部会員だけ
のことではなく、他支部の会員も横浜市内で受注すること
もあるだろうし、アスベスト対策は横浜支部内だけのことで
はないと理解した。また、リーフレットを配布して終りでは
なく、啓蒙・周知と実践へ向けた講座開催の必要性を痛感
した。

横浜市に、「横浜市として啓蒙・周知のための講座の開催意
図があるかを確認したところ、開催予定は無い」との回答を
得た。

ならば、横浜支部が主催し、横浜市の関係部署から講師を
派遣していただき、全会員に参加を呼びかけることになっ
た。当初リーフレットを作成した環境創造局の職員に講師
を依頼しようとスタートしたが、当方が求めたプログラムを

満足させるため、建築局建築防災課が窓口とまとめ役にな
り、環境創造局と資源循環局が参加することになった。
横浜市の各部署と開催に向けた協議を進める中で、神奈川
労働局の参加を求めることになり、講師陣は各部署から計
4名となり、企画・運営に当たる人数は19名となった。
横浜市がリーフレットを作成するきっかけが「新聞種」であ
ったように、「建築士として何らかのことをしなければいけ
ない」と委員会内で検討し続けて開催企画に至ったのも、
大きく報道される「新聞記事」を連続的に眼にすることでし
た。

開催に当たり、「アスベストによる健康被害を発生させない
ために』『加害者にならない。被害者にならない。』に止まら
ず、【加害者にしない。被害者にしない。】という強いメッセ
ージを合言葉に進められた。求めたプログラムは、なぜア
スベストが問題なのか?アスベストがもたらす健康被害、救
済法、建材としての法的な各種規制、廃棄処分に至るまで。
これらの基礎知識を得た上で、実践のために建築士として
必要な知識を得ることでした。

以上の経緯を経て、横浜市建築局長から、「横浜市建築局」
の後援名義の使用について承諾をいただき、開催に至りま
した。





絵画同好会便り



2017年11月26日(日)かながわ労働プラザにて、裸婦デッサン会を開催。

絵画同好会恒例の裸婦デッサン会です。

各会員の力作です。

デッサン会終了後、中華街にて忘年会開催。

集中してデッサンしたあとのビールは格別の味。



▲塩原 清晃会員の作品



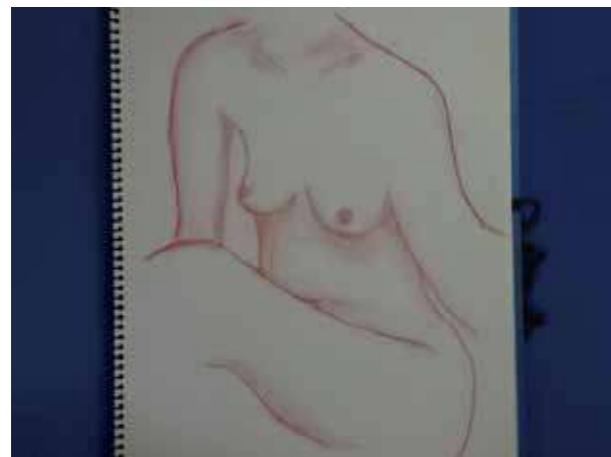
▲藤井 利時会員の作品



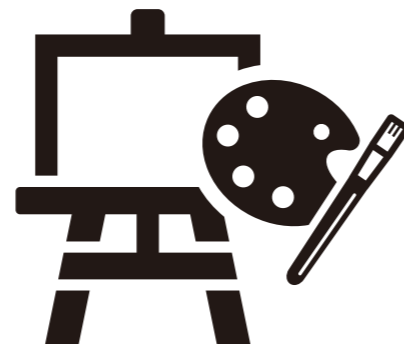
▲今井 淳子会員の作品



▲芹澤 ひと美会員の作品



▲高橋 伸廣会員の作品



テニス同好会便り



定例会報告 場所:金沢産業振興センターテニスコート

12月9日(土) 参加者8名
今回もテニス日和で、忙しい時期にも係らず参加していただきました。たっぷりゲームを楽しみました。

12月23日(土) 参加者9名
年最後の定例会となり、打ち納めという事でたくさんの方が参加してくれました。

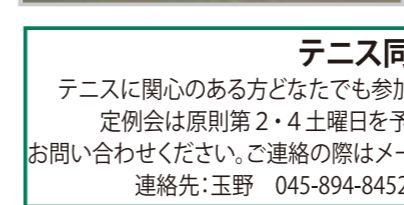
小春日和でとても気温が暖かく、気持ち良くプレーが出来ました。

平成30年
1月13日(土) 参加者9名
今年一番の寒さの中での定例会でした。それでも、今年初めての定例会という事で9名が参加し、ゲームにはとても熱が入り、盛り上がりました。

1月27日(土) 参加者11名
まだまだ厳しい寒さの中での定例会でしたが、日差しがたっぷりありテニス日和でした。久しぶりの参加者もあり、とても賑やかなゲームを楽しみました。

1月27日

3月24日(土) 参加者7名
週間予報では雨の予報でしたが、一転して青空がのぞくテニス日和となりました。ダブルスとシングルのゲームをそれぞれ楽しみ、皆さんお疲れの様子でした。



2月10日(土) 参加者8名
立春も過ぎ、だいぶ暖かさを感じられるようになってきました。ほぼ休憩なしで、たっぷり4時間のゲームを楽しみました。

2月24日(土) 参加者6名
気温もだいぶ暖かく感じられて快晴の中での定例会でした4時間の定例会はたっぷりゲームを楽しみました。後半は4名となり、6ゲーム先取を2ゲーム行いバテバテでした。

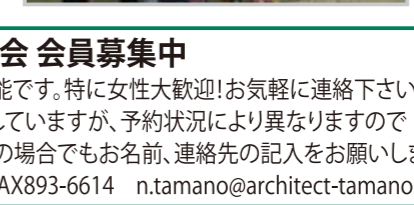
3月10日(土) 参加者9名
気温がだいぶ暖かくなってきて、テニスには最高の気候となりました。桜もいっしょに開花して、とても気持ちが良い中での定例会となりました。ゲームはとても盛り上がりました。

3月24日(土)

3月24日(土) 参加者9名
今回は、2面取れていましたが、皆さん都合が悪かったようで、少人数の参加でした。

5月12日(土) 参加者5名
少し雲がりましたがとても暑い天気となりました。ほとんど休み無しでゲームを楽しみ、あっという間の定例会でした。

5月26日(土) 参加者5名
今回は、2面取れていましたが、皆さん都合が悪かったようで、少人数の参加でした。



4月14日(土) 参加者6名
桜も葉桜となり、新緑が美しい季節となりました。あいにくの小雨がパラつく天候でしたが、何とか2時間はゲームをすることが出来ました。

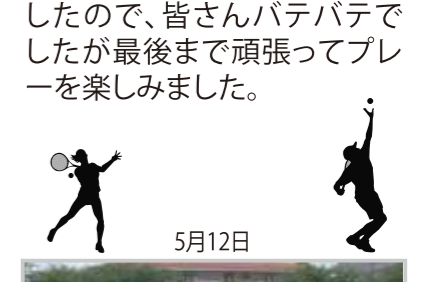
4月28日(土) 参加者10名
ゴールデンウィークも始まり、とても良い天気での定例会でした。1面4時間でしたが、久しぶりの参加者もあり、大変盛り上がりました。二次会のビールは最高でした。

5月12日(土) 参加者5名
今回は、2面取れていましたが、皆さん都合が悪かったようで、少人数の参加でした。

5月26日(土) 参加者9名
気温が30度超えの真夏日でしたので、皆さんバテバテでしたが最後まで頑張ってプレーを楽しみました。

5月26日(土)

5月26日(土)



テニス同好会 会員募集中

テニスに関心のある方などでも参加可能です。特に女性大歓迎!お気軽に連絡下さい。定例会は原則第2・4土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますのでお問い合わせください。ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。連絡先:玉野 045-894-8452 FAX893-6614 n.tamano@architect-tamano.jp

ワイン同好会便り

ワイン概略【3】

～ボルドーワインの楽しみ方～ (他のワインにも通じます)

赤ワインの場合最初は視覚から入りません。白地をバックにしてその輝き、豊かさ、濃さをしっかり見極めます。偉大なヴィンテージの若い時期は非常に濃く深く豊かで暗いルビー色です。古くなるとワインの境目が琥珀色、褐色になります。

更にヴィンテージ物はグラスの内側に垂れる涙が盛り上がっていてゆっくり落ちます。これはブドウのグリセロールやアルコールが豊かで粘りをワインに与えているからです。これをワインの脚を見ると云います。

次は嗅覚と味覚です。まず香りを嗅ぐため制止状態でと廻して空気に触れさせてから鼻をグラスの中央に入れてワインの基本となる果実味の熟度と豊かさを嗅ぎ分けま

す。アロマには9つのカテゴリーが有ると述べられています。(エミール・ペイノ著1980年)

1. 動物臭: 猫鳥類、牛、豚の肉
2. バルサム: 松の木、樹脂、バニラ
3. 木質: 新しい木、オーク樽
4. 科学的: アセトン、酵母菌、硫化水素
5. 香辛料: コショウ、シナモン、トリュフ、ミント
6. 焦臭: 煙、トースト、コーヒー
7. 花: スミレ、バラ、ジャスミン
8. 果実: クロスグリ、キイチゴ、プラム
9. 植物: ハーブ、茶、マッシュルーム



▲筆者が一番右

ワインのアロマやブーケをしっかりと感じ採ったらワインを口中でグチュグチュと全体に廻し、噛むように味見をし、同時にワインがアロマを放つように空気を吸い込むとワインの重み、豊かさ、深み、バランスと長さが解ります。

プロのテイスターはこの過程でワインを吐き出します。口中に無くてもアロマや風味を味わう事が出来ます。

ワインの味とアロマがいつまでも口中に残るのが良いワインです。

アロマ: まだブーケを得るほどの時間のたっていない若いワインの香り

ブーケ: アロマが年を取るにつれて発達すると単なるブドウの香りだけではない熟成した香り

次回はブルゴーニュです。



ワイン同好会
藤井 利時

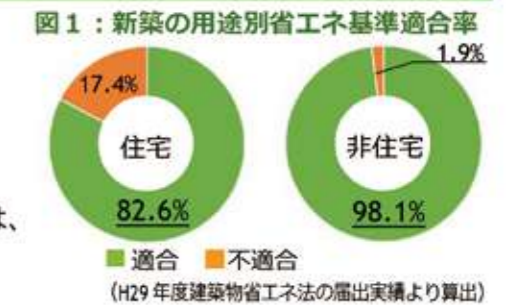
更なる建築物の省エネ化に向けた取組

建築物の省エネ化は、建築物省エネ法の「省エネ適合性判定」や「省エネ計画の届出」のほか、「長期優良住宅の認定」など様々な制度により、着実に進んできています。

今回は、省エネ化の状況や、更なる省エネ化に向けた建築局の取組についてお知らせします。

1 市内の建築物の省エネ化の状況

- ▶ 29年度の300㎡以上の省エネ基準適合率(新築)は、**住宅 82.6%、非住宅 98.1%**で、概ね適合している状況です。
- ▶ 長期優良住宅は約2,500戸の認定申請がありました。うち戸建は約2,200戸で、**新築戸建の約2割**を占めています。
- ▶ このように、300㎡以上の新築の建築物の省エネ化は、着実に進んできています。



2 30年度の建築局の主な取組 ～環境と健康に配慮した建築物の普及～

建築局では、更なる省エネ化と快適で優良な建築物の普及に向け、以下の取組を実施します。

(1) 省エネ住宅普及促進事業 …補助制度が、より使いやすくなりました!

① ZEH普及促進補助制度

- ▶ 対象設備機器費用の**1/2**、**最大50万円**を補助します。
※今年度から、神奈川県ZEH補助との併用が可能になりました!
- ▶ 補助予定件数 … 約20件

② 住まいのエコリノベーション補助制度

- ▶ 「住宅全体の断熱性の確保」につながるエコリノベーション等工事費用の一部(**最大80万円**)を補助します。
※今年度から建材・設備毎に補助額を定め、より使いやすくなりました!
市の木造住宅耐震補助とも併用可です。
- ▶ 補助予定件数 … 約50件

※補助制度は要件があります。受付は先着順です。
※アカデミー・イベントを随時開催中です。詳細は、HP (<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/housing/sumai-eco/>) または、横浜市住宅供給公社(TEL045-451-7740)にてご確認ください。

(2) 建築環境セミナー2018 (省エネ等に関する情報提供、講習会)

- ▶ 建築局は毎年、環境性能や省エネ化をテーマに「建築環境セミナー」を開催しています。
- ▶ 昨年は、省エネ計算演習を盛り込んだ「戸建 省エネ計算・CASBEE入門」を開催し、ご好評をいただきました。

※昨年度の内容や資料の一部は、[建築環境セミナー2017](#) [検索](#) でご覧いただけます。

- ▶ 今年、今後の適合義務化を見据えた「省エネ基準」関連の技術講習会に加え、新築戸建住宅の約2割を占める**長期優良住宅の技術講習会**を開催します。

- ▶ いずれも技術的な内容に加え、各種メリットやニーズ等の内容も予定しています。是非ご参加ください。(詳細は別途ご案内させていただきます。)

【開催予定時期】…長期優良住宅の技術講習会 : 10月下旬頃
省エネ基準に関する技術講習会 : 11月下旬頃



新・広報委員長の挨拶

 **広報委員長 白井 崇雄**

この度、広報委員会委員長を拝命致しました白井です。
長きにわたり活躍されておりました落合前委員長から、未熟な私がバトンを引き継ぐには荷が重く、気が引き締まる思いです。勝手に解らずご迷惑をお掛けすることも多々あることかとは思いますが、広報委員会の皆さまを中心に、お力添えを頂きながら務めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。
広報委員会では「よこはま支部だより」を通じて、会員の皆さまの活動をより分かりやすくお伝えできるような紙面作りを心掛けて取り組んでいきたいと思っております。

横浜支部創立25周年記念



貸切屋形船 納涼会

日 時：平成30年8月24日(金)

集合時間：18:30 **時間厳守!!**
(出航時刻 18:45)

集合場所：ピア・フォー乗船場(左地図参照)

会場TEL：☎045-441-0404

会 費：25周年記念のため、特別補助の会費となります

会 員 5,000円

賛助会員 6,000円

新入会員(対象は、平成28年以降の入会者)
*特別会費 3,000円

会員増強・体験キャンペーン
未入会者(建築士に限る)1,000円
紹介者(会員)さらに1,000円割引
知人、友人の方をぜひお誘いください

★★募集定員:45名★★

応募締切：8月15日(水)



【編集後記】

6月18日午前7時58分に発生した、大阪府北部の地震で被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。5名の尊い命が奪われ、建物の全壊半壊が8000棟以上、未だ、多くの方々が、不自由な生活をされています。特に、コンクリートブロックの下敷きになり、亡くなった小学生の女の子に、心痛むばかりです。これまでの地震の教訓が、活かされない日本。建築士の責務を感じるばかりです。
(雨森隆子)

【広報委員】

白井崇雄・落合 博・玉野直美・丸山幸一
雨森隆子・畠 宏好・太田真理子・遠堀太陽

【発行】

一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部事務局
〒231-0011 横浜市中区太田町2-22
神奈川県建設会館5階

Phone:045-201-1284

Fax.:045-201-0784

<http://www.kanagawa-kentikusikai.com/sibu/yokohama/>